



発行日 / 平成30年12月25日 発行者 / 網代和夫 編集 / あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

あきる野市町内会・自治会連合会

会長 網代和夫

今年には日本各地に多くの自然災害が発生し、いずれも目を覆いたくなるような惨状でありました。もう私たちは災害と背中合わせの状況にあると言っても過言ではありません。

このような中、自然災害への対応意識の醸成と『防災力』の強化・確立を図る観点から、あきる野市町内会・自治会連合会は、あきる野市防災・安心地域委員会の全面的な協力と東京消防庁秋川消防署・あきる野市消防団・秋留台公園サービスタワー・赤十字奉仕団・あきる野市議会議員団、市役所の参加協力を得て、82の各町内会・自治会が組織する自主防災会の防災リーダーを中心に約500名が12月9日(日)、秋留台公園に参集し、あきる野市を挙げての夜間防災訓練を実施しました。

私たち町内会・自治会連合会では、これらの防災訓練で培われる防災の知識・技能の習得も然ることながら、地域一体となった『地域力』の強化を図ることにより、これが災害時の確固たる『防災力』に繋がるものと確信します。

そのため、地域力の源である隣近所と連携する『御近所力』の向上が不可欠であり、皆さまとともに、町内会・自治会活動を通じて取り組んでまいりたいと思います。

【平成30年東京都地域の底力発展事業】対象事業



AEDによる救命蘇生訓練



煙ハウス体験訓練



救出搬送訓練



伝達誘導訓練



給食給水訓練



応急給水訓練

ロゴマークの募集

あきる野市町内会・自治会連合会では連合会のロゴマークの募集を開始いたします。期間は平成31年1月1日から同年1月31日までの1ヶ月間です。連合会では「ありがとう」、「お互いさま」の輪を広げる活動を行っています。活動する連合会のシンボルとなるロゴマークを募集いたします。詳しくは、地域防災課地域振興係まで

Tel 042-558-1394

余瀝

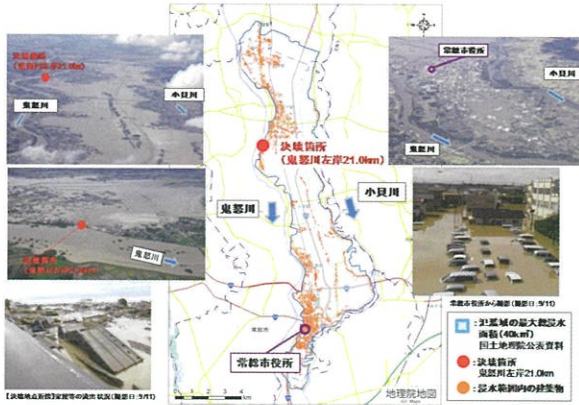
次はある町内会役員の眩きです。▼この春、10世帯が町内会を抜けました。晴天の霹靂でした。驚いたことのもう一つはこの地域で様々な面でリーダー的な存在の方が辞めたことでした。そのような方も町内会を退会するようになってしまったのだ、と。退会の主な理由は、配偶者の介護、高齢、仕事の多忙等で組長等役員が出来ないということでした。自分が役員をできなければ他の方々に迷惑がかかる、それは精神的に忍びない、町内会の役割はわかるがこの際すっきりしたいということでした。これは多くの町内会・自治会に見られる傾向でしょう。災害に共に対処することを始め町内会の存在意義を強調しても退会の意思を固めた方を説得するのは至難の業です。町内会をやめても日常生活に特段の支障はない、やめれば出たくもない行事に参加しないで済むし、町内会費を払う必要も募金をする必要もない。きれいなさっぱりする。いままで親しくしてきた人たちは若干疎遠になるし、一抹の後ろめたさは感じるが、それも時が解決してくれる。このように退会者の心中が推察されます。▼こちら側は、町内会活動を通して住民の皆さんがより住みよい地域にしたいと訴えるのです。が、相手の琴線に触れることが出来ず隔靴搔痒の思いを否定できません。▼共に汗水流して活動した仲間も離れてゆく現実があります。どう退会者を出さずに済むか日々考えています。

視察研修の実施

大塚自治会 石関京子

去る10月14日(日)から15日(月)にかけて1泊2日の視察研修が実施されました。

さて、今回の視察は茨城県常総市でした。常総市では平成27年9月の関東・東北豪雨により鬼怒川が決壊し、市の3分の1が浸水されるという大災害に見舞われました。その時の状況を市の職員に詳細に説明され、記憶が薄れていた3年前のテレビの中での出来事が身近に感じられた素晴らしい研修内容でした。



常総市では被災後3年を経過した現在も「教訓による取り組み」として、地道な防災活動を続けています。あきる野市でも、いつ来るかわからない災害に対して、「持続可能な活動」を、「地道に継続」していく必要があると実感した視察研修でした。

あきる野市産業祭に参加

11月の10日、11日の2日間、都立秋留台公園で開催された第24回あきる野市産業祭に参加し、連合会の宣伝と加入促進に取り組みました。



中村自治会スコップ三味線



菅生町内会子供歌舞伎



小和田自治会佳月太鼓

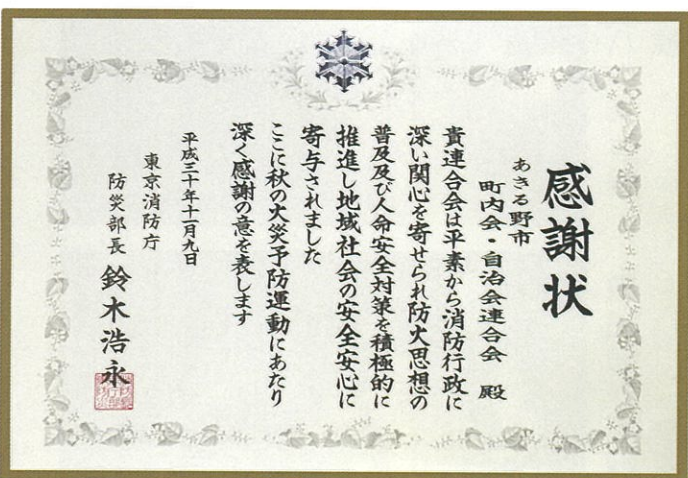
役立つ救急医療情報キット

高齢者の二人暮らし。ある時主人が脚立から落下し、頭部から出血をしており、驚くと同時に頭の中が真っ白になってしまいました。近所の方に救急車を呼んで頂いたが、救急隊員への対応は平常心を失った私には、どうにもならなかったが、この「救急医療情報キット」のおかげで、非常に助かりました。



感謝状授与

11月9日、当連合会は東京消防庁防災部長より「人命安全対策等推進功労」として感謝状を授与されました。



イベントのお知らせ

連合会では「地域をもっと知ろう、親子そろって地域探訪」と題して市民解説委員による地域解説付き地域散策を実施いたします。実施日は平成三十一年三月二日(土) 午前九時から十二時を予定。探訪コースは五日市エリア(山田地区)と、秋川エリア油平・牛沼地区)の二か所で、4年生以上の小学生の親子が対象です。詳しくは、地域防災課地域振興係まで
TEL 042-558-1394

編集後記

広報部会のモットーは「会報は作る人の物ではなく、読む人のための物」を日々確認し原稿作りに勤しむ。

如何なる示唆に富む名文と云えど読み手が無くしては、ただの紙。如何にすれば、関西弁でいう「面白そうやん、読んで見たるか」と手に取ってもらえるか。

日々、是鬨い、そこで浮上したのが、キャッチコピーという手法と着飾る絵。ネタが尽きない様、祈るばかり。

広報部会 松下